

平成19年8月の調査と比較してみると、「賛成」(36.8%→42.8%)とする者の割合が上昇し、「反対」(59.4%→52.9%)とする者の割合が低下している。また、性・年齢別に見ると、「賛成」とする者の割合は女性の20歳代から40歳代、男性の20歳代、30歳代で、「反対」とする者の割合は女性の70歳以上、男性の60歳代、70歳以上で、それぞれ高くなっている。



「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」という考え方について

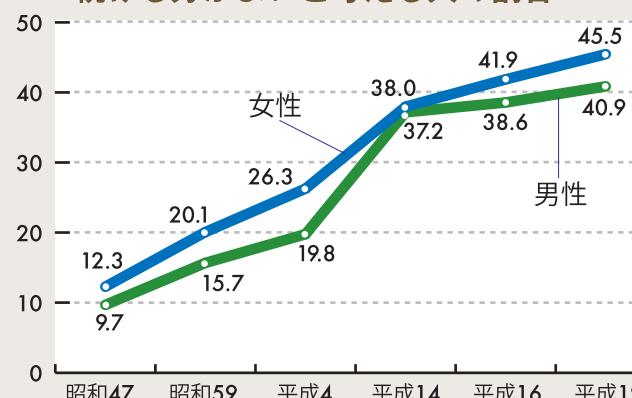
どちらかといえば賛成
どちらかといえば反対
反対
賛成

	賛成	わからない	どちらかといえば反対	反対
全体	22.5%	20.3%	30.1%	22.8%
男性	19.3%	19.4%	30.4%	26.2%
女性	25.3%	21.2%	29.9%	19.8%



出典：内閣府 男女共同参画に関する世論調査(平成21年10月調査)

子どもができても女性が職業を続ける方がよいと考える人の割合



20年間の仕事やプライベートでの出来事を、年代ごとに書き出してもらいました。
さまざまな人生が垣間見え、互いの年表に興味津々でした

西岡／八木さんは育児休業を取り
れてまた職場復帰されましたね？

八木／私の職場はとても育児休業
を取りやすい環境でした。また、双方の実家も近い場所にあり、主人も自営業なので通常勤務ができるのだと思います。保育園のお迎えなども、主人やお義母さんにしてもらつたりしました。家族の協力な
くして正社員に戻るのは無理だつたと実感しています。子どもに迷惑をかけるくらいなら、たぶん正社員復帰はあきらめていたと思います。

岡尾／私が仕事を再開する際に不安だったのは、自分の体についているのか、子どもを独りにするのはどうか…といったことです。パートで行っている病院の医療事務の仕事は、子どもが学校に行っている間に働けて、土日だけでなく平日も1日休みがとれるという勤務時間重視で選びました。それでもいざ仕事を始めると、私の仕事は代わりがないので、子どもが風邪を引いたときなどはとても困ります。やはり子どもがいると、正社員で働くには家族の協力がないと無理だと思います。

西岡／学童保育に預けることなどは考えなかったのですか？

岡尾／今は正社員で働いていない

西岡／私はバブル崩壊の頃に結婚しました。当時はまだ産休や育休などの制度がなく、会社でも今ならセクハラになるようなことが平気で言われていました。「どうしてこんな忙しい時期に妊娠するの？」と言われた同僚もいました。

岡尾／私はバブル崩壊の頃に結婚しました。当時はまだ産休や育休などの制度がなく、会社でも今ならセクハラになるようなことが平気で言われていました。「どうしてこんな忙しい時期に妊娠するの？」と言われた同僚もいました。

八木／岡尾さんのように、私は世代で20代前半に結婚した人たちがいます。まだ社会の制度も会社の対応も整っていなかつたんですね。今は制度も環境も大きく変わり、子どもが生まれても仕事を続ける女性が増え、ずいぶん変わったと思います。

八木／岡尾さんのように、私は世代で20代前半に結婚した人たちがいます。まだ社会の制度も会社の対応も整っていなかつたんですね。今は制度も環境も大きく変わり、子どもが生まれても仕事を続ける女性が増え、ずいぶん変わったと思います。

山本／県庁では女性の上司が増えてきたな、と思います。異動時期になると、男性より女性の管理職の動

西岡／男女雇用機会均等法が施行された86年は、ちょうど私たちが入社したころになりますが皆さん入社の職場では女性の採用状況や仕事内容などに変化はありましたか。

八木／私が入った時は、女性の総合職での募集はありませんでしたが、今の若い人たちとは総合職として入社しています。以前の金融機関は、女性は窓口業務、男性は営業でした。女性は窓口業務、男性は営業でした。自分がやりたいこと、目標を持つている人ならば、男女関係なく自営業なので通常勤務ができるのだと思います。保育園のお迎えなども、主人やお義母さんにしてもらつたりしました。家族の協力なくして正社員に戻るのは無理だつたと実感しています。子どもに迷惑をかけるくらいなら、たぶん正社員復帰はあきらめていたと思います。

山本／県庁では女性の上司が増えてきたな、と思います。異動時期になると、男性より女性の管理職の動

西岡／私は率先して仕事をするよ
うな雰囲気があるといいます。
岡尾／家庭ではまだ昔からの性差
が残っていると思います。女性は仕事
を終えて帰宅してもゆっくりで
きず、すぐに家事や育児をしな
くなっていますから、家事負担の不平等
を感じるようになりました。でも
最近の若い世代の男性は、家事も積
極的にやるようで、意識の変化を
感じます。

西岡／男女雇用機会均等法が施行された86年は、ちょうど私たちが入社したころになりますが皆さん入社の職場では女性の採用状況や仕事内容などに変化はありましたか。

八木／私が入った時は、女性の総合職での募集はありませんでしたが、今の若い人たちとは総合職として入社しています。以前の金融機関は、女性は窓口業務、男性は営業でした。女性は窓口業務、男性は営業でした。自分がやりたいこと、目標を持つている人ならば、男女関係なく自営業なので通常勤務ができるのだと思います。保育園のお迎えなども、主人やお義母さんにしてもらつたりしました。家族の協力なくして正社員に戻るのは無理だつたと実感しています。子どもに迷惑をかけるくらいなら、たぶん正社員復帰はあきらめていたと思います。

西岡／私は率先して仕事をするよ
うな雰囲気があるといいます。
岡尾／家庭ではまだ昔からの性差
が残っていると思います。女性は仕事
を終えて帰宅してもゆっくりで
きず、すぐに家事や育児をしな
くなっていますから、家事負担の不平等
を感じるようになりました。でも
最近の若い世代の男性は、家事も積
極的にやるようで、意識の変化を
感じます。

仕事と子育ての両立は職場や社会の環境次第！？



西岡／八木さんは育児休業を取り
れてまた職場復帰されましたね？

八木／私の職場はとても育児休業
を取りやすい環境でした。また、双方の実家も近い場所にあり、主人も自営業なので通常勤務ができるのだと思います。保育園のお迎えなども、主人やお義母さんにしてもらつたりしました。家族の協力な
くして正社員に戻るのは無理だつたと実感しています。子どもに迷惑をかけるくらいなら、たぶん正社員復帰はあきらめていたと思います。

岡尾／私が仕事を再開する際に不安だったのは、自分の体についているのか、子どもを独りにするのはどうか…といったことです。パートで行っている病院の医療事務の仕事は、子どもが学校に行っている間に働けて、土日だけでなく平日も1日休みがとれるという勤務時間重視で選びました。それでもいざ仕事を始めると、私の仕事は代わりがないので、子どもが風邪を引いたときなどはとても困ります。やはり子どもがいると、正社員で働くには家族の協力がないと無理だと思います。

西岡／学童保育に預けることなどは考えなかったのですか？

岡尾／今は正社員で働いていない

西岡／私はバブル崩壊の頃に結婚しました。当時はまだ産休や育休などの制度がなく、会社でも今ならセクハラになるようなことが平気で言われていました。「どうしてこんな忙しい時期に妊娠するの？」と言われた同僚もいました。

岡尾／私はバブル崩壊の頃に結婚しました。当時はまだ産休や育休などの制度がなく、会社でも今ならセクハラになるようなことが平気で言われていました。「どうしてこんな忙しい時期に妊娠するの？」と言われた同僚もいました。

八木／岡尾さんのように、私は世代で20代前半に結婚した人たちがいます。まだ社会の制度も会社の対応も整っていなかつたんですね。今は制度も環境も大きく変わり、子どもが生まれても仕事を続ける女性が増え、ずいぶん変わったと思います。

八木／岡尾さんのように、私は世代で20代前半に結婚した人たちがいます。まだ社会の制度も会社の対応も整っていなかつたんですね。今は制度も環境も大きく変わり、子どもが生まれても仕事を続ける女性が増え、ずいぶん変わったと思います。

山本／県庁では女性の上司が増えてきたな、と思います。異動時期になると、男性より女性の管理職の動

西岡／男女雇用機会均等法が施行された86年は、ちょうど私たちが入社したころになりますが皆さん入社の職場では女性の採用状況や仕事内容などに変化はありましたか。

八木／私が入った時は、女性の総合職での募集はありませんでしたが、今の若い人たちとは総合職として入社しています。以前の金融機関は、女性は窓口業務、男性は営業でした。女性は窓口業務、男性は営業でした。自分がやりたいこと、目標を持つている人ならば、男女関係なく自営業なので通常勤務ができるのだと思います。保育園のお迎えなども、主人やお義母さんにしてもらつたりしました。家族の協力なくして正社員に戻るのは無理だつたと実感しています。子どもに迷惑をかけるくらいなら、たぶん正社員復帰はあきらめていたと思います。

西岡／私は率先して仕事をするよ
うな雰囲気があるといいます。
岡尾／家庭ではまだ昔からの性差
が残っていると思います。女性は仕事
を終えて帰宅してもゆっくりで
きず、すぐに家事や育児をしな
くなっていますから、家事負担の不平等
を感じるようになりました。でも
最近の若い世代の男性は、家事も積
極的にやるようで、意識の変化を
感じます。

西岡／男女雇用機会均等法が施行された86年は、ちょうど私たちが入社したころになりますが皆さん入社の職場では女性の採用状況や仕事内容などに変化はありましたか。

八木／私が入った時は、女性の総合職での募集はありませんでしたが、今の若い人たちとは総合職として入社しています。以前の金融機関は、女性は窓口業務、男性は営業でした。女性は窓口業務、男性は営業でした。自分がやりたいこと、目標を持つている人ならば、男女関係なく自営業なので通常勤務ができるのだと思います。保育園のお迎えなども、主人やお義母さんにしてもらつたりしました。家族の協力なくして正社員に戻るのは無理だつたと実感しています。子どもに迷惑をかけるくらいなら、たぶん正社員復帰はあきらめていたと思います。

西岡／私は率先して仕事をするよ
うな雰囲気があるといいます。
岡尾／家庭ではまだ昔からの性差
が残っていると思います。女性は仕事
を終えて帰宅してもゆっくりで
きず、すぐに家事や育児をしな
くなっていますから、家事負担の不平等
を感じるようになりました。でも
最近の若い世代の男性は、家事も積
極的にやるようで、意識の変化を
感じます。

西岡／男女雇用機会均等法が施行された86年は、ちょうど私たちが入社したころになりますが皆さん入社の職場では女性の採用状況や仕事内容などに変化はありましたか。

八木／私が入った時は、女性の総合職での募集はありませんでしたが、今の若い人たちとは総合職として入社しています。以前の金融機関は、女性は窓口業務、男性は営業でした。女性は窓口業務、男性は営業でした。自分がやりたいこと、目標を持つている人ならば、男女関係なく自営業なので通常勤務ができるのだと思います。保育園のお迎えなども、主人やお義母さんにしてもらつたりしました。家族の協力なくして正社員に戻るのは無理だつたと実感しています。子どもに迷惑をかけるくらいなら、たぶん正社員復帰はあきらめていたと思います。

西岡／私は率先して仕事をするよ
うな雰囲気があるといいます。
岡尾／家庭ではまだ昔からの性差
が残っていると思います。女性は仕事
を終えて帰宅してもゆっくりで
きず、すぐに家事や育児をしな
くなっていますから、家事負担の不平等
を感じるようになりました。でも
最近の若い世代の男性は、家事も積
極的にやるようで、意識の変化を
感じます。

西岡／男女雇用機会均等法が施行された86年は、ちょうど私たちが入社したころになりますが皆さん入社の職場では女性の採用状況や仕事内容などに変化はありましたか。

八木／私が入った時は、女性の総合職での募集はありませんでしたが、今の若い人たちとは総合職として入社しています。以前の金融機関は、女性は窓口業務、男性は営業でした。女性は窓口業務、男性は営業でした。自分がやりたいこと、目標を持つている人ならば、男女関係なく自営業なので通常勤務ができるのだと思います。保育園のお迎えなども、主人やお義母さんにしてもらつたりしました。家族の協力なくして正社員に戻るのは無理だつたと実感しています。子どもに迷惑をかけるくらいなら、たぶん正社員復帰はあきらめていたと思います。

西岡／私は率先して仕事をするよ
うな雰囲気があるといいます。
岡尾／家庭ではまだ昔からの性差
が残っていると思います。女性は仕事
を終えて帰宅してもゆっくりで
きず、すぐに家事や育児をしな
くなっていますから、家事負担の不平等
を感じるようになりました。でも
最近の若い世代の男性は、家事も積
極的にやるようで、意識の変化を
感じます。

西岡／男女雇用機会均等法が施行された86年は、ちょうど私たちが入社したころになりますが皆さん入社の職場では女性の採用状況や仕事内容などに変化はありましたか。

八木／私が入った時は、女性の総合職での募集はありませんでしたが、今の若い人たちとは総合職として入社しています。以前の金融機関は、女性は窓口業務、男性は営業でした。女性は窓口業務、男性は営業でした。自分がやりたいこと、目標を持つている人ならば、男女関係なく自営業なので通常勤務ができるのだと思います。保育園のお迎えなども、主人やお義母さんにしてもらつたりしました。家族の協力なくして正社員に戻るのは無理だつたと実感しています。子どもに迷惑をかけるくらいなら、たぶん正社員復帰はあきらめていたと思います。

西岡／私は率先して仕事をするよ
うな雰囲気があるといいます。
岡尾／家庭ではまだ昔からの性差
が残っていると思います。女性は仕事
を終えて帰宅してもゆっくりで
きず、すぐに家事や育児をしな
くなっていますから、家事負担の不平等
を感じるようになりました。でも
最近の若い世代の男性は、家事も積
極的にやるようで、意識の変化を
感じます。

西岡／男女雇用機会均等法が施行された86年は、ちょうど私たちが入社したころになりますが皆さん入社の職場では女性の採用状況や仕事内容などに変化はありましたか。

八木／私が入った時は、女性の総合職での募集はありませんでしたが、今の若い人たちとは総合職として入社しています。以前の金融機関は、女性は窓口業務、男性は営業でした。女性は窓口業務、男性は営業でした。自分がやりたいこと、目標を持つている人ならば、男女関係なく自営業なので通常勤務ができるのだと思います。保育園のお迎えなども、主人やお義母さんにしてもらつたりしました。家族の協力なくして正社員に戻るのは無理だつたと実感しています。子どもに迷惑をかけるくらいなら、たぶん正社員復帰はあきらめていたと思います。

西岡／私は率先して仕事をするよ
うな雰囲気があるといいます。
岡尾／家庭ではまだ昔からの性差
が残っていると思います。女性は仕事
を終えて帰宅してもゆっくりで
きず、すぐに家事や育児をしな
くなっていますから、家事負担の不平等
を感じるようになりました。でも
最近の若い世代の男性は、家事も積
極的にやるようで、意識の変化を
感じます。

西岡／男女雇用機会均等法が施行された86年は、ちょうど私たちが入社したころになりますが皆さん入社の職場では女性の採用状況や仕事内容などに変化はありましたか。

八木／私が入った時は、女性の総合職での募集はありませんでしたが、今の若い人たちとは総合職として入社しています。以前の金融機関は、女性は窓口業務、男性は営業でした。女性は窓口業務、男性は営業でした。自分がやりたいこと、目標を持つている人ならば、男女関係なく自営業なので通常勤務ができるのだと思います。保育園のお迎えなども、主人やお義母さんにしてもらつたりしました。家族の協力なくして正社員に戻るのは無理だつたと実感しています。子どもに迷惑をかけるくらいなら、たぶん正社員復帰はあきらめていたと思います。

西岡／私は率先して仕事をするよ
うな雰囲気があるといいます。
岡尾／家庭ではまだ昔からの性差
が残っていると思います。女性は仕事
を終えて帰宅してもゆっくりで
きず、すぐに家事や育児をしな
くなっていますから、家事負担の不平等
を感じるようになりました。でも
最近の若い世代の男性は、家事も積
極的にやるようで、意識の変化を
感じます。

西岡／男女雇用機会均等法が施行された86年は、ちょうど私たちが入社したころになりますが皆さん入社の職場では女性の採用状況や仕事内容などに変化はありましたか。

八木／私が入った時は、女性の総合職での募集はありませんでしたが、今の若い人たちとは総合職として入社しています。以前の金融機関は、女性は窓口業務、男性は営業でした。女性は窓口業務、男性は営業でした。自分がやりたいこと、目標を持つている人ならば、男女関係なく自営業なので通常勤務ができるのだと思います。保育園のお迎えなども、主人やお義母さんにしてもらつたりしました。家族の協力なくして正社員に戻るのは無理だつたと実感しています。子どもに迷惑をかけるくらいなら、たぶん正社員復帰はあきらめていたと思います。

西岡／私は率先して仕事をするよ
うな雰囲気があるといいます。
岡尾／家庭ではまだ昔からの性差
が残っていると思います。女性は仕事
を終えて帰宅してもゆっくりで
きず、すぐに家事や育児をしな
くなっていますから、家事負担の不平等
を感じるようになりました。でも
最近の若い世代の男性は、家事も積
極的にやるようで、意識の変化を
感じます。

西岡／男女雇用機会均等法が施行された86年は、ちょうど私たちが入社したころになります

正規雇用者の男女間給与格差(OECD国際比較)

OECD『Employment Outlook 2008』

※2006年の調査値を使用。フランスは2005年、スウェーデンは2004年の調査値。

縦軸の比率は、正規雇用者男性の給与を100%とした場合の正規雇用者女性の給与比率である。日本は67%であり、OECD平均を下回り、大きな男女間給与格差がある。

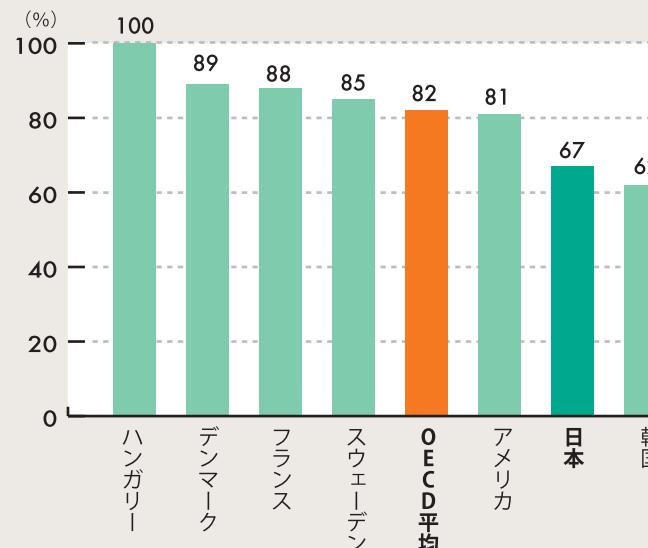


笠原／昔は高卒でも就職できただけで、仕事の内容重視で非正規で働く人多かったです。仕事に就くのがいちばんだという風潮

平岩／実家の祖母が介護を受けたときに、多くの時間と金銭的な問題で、アルバイトに多くの時間を割かなければならなかな学生もいるのが現状です。

岡尾／もし今の職場で正社員になつたとしても、健康保険や社会保険などをいろいろ引かれたら、全然生活していくできません。現状は、労働時間を延ばすと配偶者控除の上限を超えててしまうので、103万円以内で働いています。自分で生計立てるとなつたら、やっぱり正社員になりたいのですが、なかなか正社員にはなれませんからね。

八木／私の職場では非正規で再就職をした人を対象に試験がありて、なりたい人は正社員になります。各



1968年生まれの有名人

- 井森美幸(タレント)
- 小川直也(総合格闘家)
- 大塚寧々(女優)
- 北沢豪(サッカー解説者)
- 相楽晴子(女優)
- 杉本彩(女優)
- CHARA(歌手)
- 長嶋三奈(スポーツコメンテーター)
- 服部道子(プロゴルファー)
- 野茂英雄(元プロ野球選手)
- 原田雅彦(元スキージャンパー)
- 舞の海秀平(スポーツキャスター)
- 森口博子(タレント)
- 飯島直子(女優)
- 荻野目洋子(歌手)
- 大塚寧々(女優)
- 近藤サト(フリーアナウンサー)
- 佐々木蔵之介(俳優)
- ウィル・スミス(俳優)
- つくね(音楽プロデューサー)
- 長山洋子(歌手)
- 夏川結衣(女優)
- 羽野晶紀(タレント)
- 葉加瀬太郎(バイオリニスト)
- 松下由樹(女優)
- 内野聖陽(俳優)
- 勝間和代(経済評論家)
- 菊池桃子(タレント)
- 桑田真澄(元プロ野球選手)
- 佐藤弘道(タレント)
- 鈴木京香(女優)
- セリーヌ・ディオン(歌手)
- 名倉潤(タレント)
- 羽田美智子(女優)
- 林葉直子(元棋士)
- 豊原徹(タレント)
- 山崎邦正(タレント)
- 薬師寺保栄(元プロボクサー)

うことも少なくなっているのでは。

影山／どうして日本ではベビーシッターが広まらないんでしょうね。欧米では職業として確立しているのに。

笠原／保育や介護は仕事内容の割に給料が安く、時間単価に直すと本当に厳しいからではないでしょうか。

幼稚園や保育園の先生は、自宅に帰つても翌日の準備に追われたり、時間給で働く非常勤の先生でもクラス担任を持っていたりするのが現状です。就職難のいま、求人が多いのは厳しい内容の仕事が多いですね。また、一度仕事を辞めてパートとして復帰するとさらに安い賃金になります。また、一度仕事を辞めると、とても悪い循環が起きてしまっています。

山本／特に介護は、払つているお金が皆均等という点に原因があると思います。40歳以上になると介護保険が給料から引かれ、5段階の等級が高くなれば、たくさんサービスが受けられるという仕組みですよね。これだと悪くなつた方が得だという事になつてしまつてしまふ。どんどん地域の介護力とか、自分の治癒力というものは落ちてしまふ。そういう地域の介護力とか、自分たちの介護報酬の額もなかなか上げられないし、税金も掛かるという、負の循環が起きています。これを正の循環に変えなければいけない。

平岩／実家の祖母が介護を受けて要ではないでしょうか。

笠原／数年前にテレビの特集でワーキングプアの現状を知り、すぐ衝撃を受けました。今おっしゃつたような、親の収入が少ないとことで子どもの学歴や受けられる教育内容が低くなり、将来働く職場も限られてくる、となると深刻です。学歴が絶対だとは言いませんが、このような貧困の連鎖に陥ると逆転するチャンスがない。もう少し勉強できる環境を整えてあげることは出来ないのかなと思います。実際、私が働く大学でも、入学手続きの段階で入学金を少し待つくださいとか、入学後も金銭的な問題で、アルバイトに多くの時間を割かなければならぬ学生もいるのが現状です。

平岩／昔は高卒でも就職できただけで、就職口がたくさんあるわけではないですね。

笠原／昔はやりたい

も、就職相談の現場にいると、「正社員だったら迷わず行きなさい」とい

うのが本音です。何年か派遣社員やフリーターの状態を続けてから正社員になろうとしても、履歴書を見られた段階で、難色を示されてしまう現状があります。

非正規雇用で働くとは？

現状と問題点

西岡／非正規で働く女性の割合が増加しています。本日のメンバーで、非正規で働いているらっしゃるのは岡尾さんと編集スタッフの村田さんですね。もし、夫の収入がない状況で家計を造り繰りするとしたら、生活できるだけの収入を得られますか。

岡尾・村田／無理ですね。

岡尾／もし今の職場で正社員になつたとしても、健康保険や社会保険などをいろいろ引かれたら、全然生活していくできません。現状は、労働時間を延ばすと配偶者控除の上限を超えててしまうので、103万円以内で働いています。自分で生計立ててるとなつたら、やっぱり正社員になりたいのですが、なかなか正社員にはなれませんからね。

八木／私の職場では非正規で再就職をした人を対象に試験がありて、なりたい人は正社員になります。各

いますが、介護士さんもヘルパーさんは増えしていくし、特に子どもがいる家庭では、子どもに頼れない世

で、介護がスムーズに受けられる世の中になつていて欲しいですね。

岡尾／子どもがいると教育費の出費が多いので、働きたいというお母さんは、意外と資格を持つていなくて、パソコンができる世代だと思うので、

ソコンができるようですね。40代の人は多いと思います。ヘルパーさんの時給をもう少し上げれば、働きたい

平岩／そうですね。現場では人手が足りず、成り手がないから、一人一人の仕事がハードになるといふ悪循環があるようですね。

人は多いとと思います。ヘルパーさんは40代の人は多いと思います。

格差の世襲を断ち切るために学校教育の見直しを

格差の世襲を断ち切るために学校教育の見直しを

岡尾／子どもが二人いると、大学進学の費用をどのように工面しようと、先が不安になります。子ども達が学べる環境を整えるとか、いろいろ考えてほしいです。また、私学も手当の支給はうれしいのですが、それよりもちゃんと親が働けます。親の所得で子どもの学歴が決まらないように、考えることが必

も、就職相談の現場にいると、「正社員だったら迷わず行きなさい」とい

うのが本音です。何年か派遣社員やフリーターの状態を続けてから正社員になろうとしても、履歴書を見られた段階で、難色を示されてしまう現状があります。

非正規雇用で働くとは？

現状と問題点

西岡／非正規で働く女性の割合が増加しています。本日のメンバーで、非正規で働いているらっしゃるのは岡尾さんと編集スタッフの村田さんですね。もし、夫の収入がない状況で家計を造り繰りするとしたら、生活できるだけの収入を得られますか。

岡尾・村田／無理ですね。

岡尾／もし今の職場で正社員になつたとしても、健康保険や社会保

険などをいろいろ引かれたら、全然生活していくできません。現状は、労働時間を延ばすと配偶者控除の上限を超えててしまうので、103万円以内で働いています。自分で生計立ててるとなつたら、やっぱり正社員になりたいのですが、なかなか正社員にはなれませんからね。

（1）民法の規定による配偶者であること。（2）納税者と生計を一にしていること。（3）年間の合計所得金額が38万円以下であること。（4）青色申告者の事業専従者としてその年を通じ一度も給与の支払を受けないことを。（5）事業専従者でないこと。以上の条件を満たす場合、一定の金額の所得控除が受けられる制度。

配偶者控除



西岡／アラフォー世代の皆さんには、あと20年くらい現役で働くことができますが、これから20年間を

これから20年 私たちは、こう生きたい

西岡／私は自宅で仕事をしているので、時間の区切りは自分でしています。主人が出勤している間が私の仕事時間になっていますね。

平岩／私は自宅で仕事をしているので、時間の区切りは自分でしています。主人が出勤している間が私の仕事時間になっていますね。



40~44歳の未婚率

出典：統計局 国勢調査

1990年

女 5.8% 男 11.7%

2005年

女 12.2% 男 21.9%



職場にそういった制度があるといいですね。

西岡／影山さんは非正規で働かれた経験がありますね。

員の不条理は感じました。とにかく会社側にいいように使われる、というのが問題ですね。それ

に先の保障もないのに、審査が通らなかつたりしました。今は運良く正社員の仕事に就けたので、生活でできていますが。

平岩／非正規社員には、2パートンあるような気がします。非正規という立場を上手く利用している方と、ほかに働き口がなくてやむを得ず非正規社員になっている方です。特に後者の方は何とかしてあげたいと思います。

笠原／私の職場にいる非常勤の事務職員は、正規職員と同じような仕事をこなし、パソコンが得意で優秀な方もいますが、時給はあまり高くありません。収入面には正規職員とは大きな開きがあり、親元から通つていないと生活が苦しいです。さらに学校は長期休暇があるので、時給だと月々の収入が不安定になります。雇用側はメリットが大きいけれど、彼女たちは辛いですね。

西岡／契約社員や派遣社員の場

といつたところでしょうか。もともと水曜日がノー残業デーで、さらに第3金曜日がワーク・ライフ・バランスデーになつたため、第3週は仕事のやりくりが大変です。

笠原／上司は残業を減らせ、と簡単に言うのですが、ちゃんと仕事内容を分析して、無駄な部分を指摘してほしいです。仕事の期日と量と内容を考えたら、残業をしないことなぜない場合があります。私の場合、夕方5時を過ぎてから学生が飛び込んできて、履歴書の添削をすることもあります。学生が明日が締め切りだと言っているのに、終業時刻だから帰れとはとても言えません。

影山／労働条件が改善されるのは歓迎ですが、私の職場でも最近、労働時間を規定時間内に收めないといけなくなり、残業がしにくくなつてしましました。でも、仕事の生産性は落とせず、山積した仕事も処理しなくてはいけない。単に働く時間を減らせというのはどうかと思います。

平岩／私は自宅で仕事をしているので、時間の区切りは自分でしています。主人が出勤している間が私の仕事時間になっていますね。

合、雇用期間に3年の制限があります。といつても4年目以降も、契約社員の場合は契約更新ができ、派遣社員の場合は直接雇用の道が拓けるはずなのですが、残念ながらそれを機に雇用側が契約を打ち切るケースがみられます。なにか見聞きした事例はありますか。

影山／友人の会社でも、契約社員が大勢解雇されました。10年近く働いてきた方もいたそうですが、社内で労働条件の見直しなどがあり、今年から急に契約も派遣も一

律3年までで打ち切つて再契約なし、ということになってしまったそうです。非正規社員同士で不公平にならないよう雇用期間を統一した、との説明だったそうですが変ですね。

山本／本来は労働者が、安定して働く環境整備のための法律であるはずなのに、3年の制限が逆に苦しみます。どうぞよろしくお願いします。

**自分時間と仕事時間
あなたのバランスは?**

西岡／最近、仕事とプライベートどちらも大切した生活を目指すワーク・ライフ・バランスという考え方が始まっています。皆さんはどうお考えですか。

山本／県庁にはワーク・ライフ・バランスがありますが、まだこれから

どのように働き、生活していくたいですか。

影山／会社の仕事のほかに、もう一つ何か別なことをやりたいです。以前、外国人に日本語を教えていたことがあり、いつか再開できるといなと思っていました。この歳になると、人生って何だろうと考えるようになるので、会社と好きなこと以外の何かを見つけ、**自立した女性**になりたいです。

笠原／結婚するかしないかで、かなり大きく違つてくるので、どう生きていくかは分かりません。仕事は好きかなことをしているので、今は非常に充実しています。キャリアカウンセリングや、キャリア教育は続けていきたいです。ただ独身の現状に満足しつつも、自分は何のために生きているのだろうと考えたり、兄の子どもを見るなど、自分が獲得してきたものではなく、人に与えたものしかないと思います。だからこの20年は大事な人たちのことを大事にしています。

西岡／皆さん、本日はどうもありがとうございました。

岡尾／今まで子ども中心の生活をしてきましたので、子どもが成人したら仕事もワーク・ライフの中に取り入れ



■ GEM(ジエンダー・エンパワーメント指数)

国連が、各国の人々の寿命や教育水準等を数値化し、公表している数値の一つで、国会の議席数や管理職等の男女の割合及び男女の推定勤労所得を指数化したもの。これ以外には、代表的なものとして、人間開発指数(HDI)がある。2009年に公表された日本のジエンダーエンパワーメント指数は、108カ国中57位となつていています。



※キーワードは厚生労働省・男女共同参画局のホームページ等を参考にしました。

つつ、主人と共に趣味を見つけることが出来たらいいな、と思います。

今は会話の中身が子どものことばかりなので、他のことを喋つてみたいですね。老夫婦で手をつないで歩い

でいる方がいらっしゃいますが、そんな風になるのが理想です。

ハ木／20年後は親の介護の問題がずつり来るかもしれません。楽し

みにしているのは、夫婦そろつて山登りなどをすることです。それに、孫がいたらいなと思いません。40歳

を機に、自分の親を介護施設に入れる地域づくりを目指し、何か社会活動をしていきたいです。

山本／ワーク・ライフ・バランスを考

える時に、ワークとライフの2つではなく、ワークとライフと地域活動の3つの点を結ぶ二角形で考えるようになります。

西岡／皆さん、本日はどうもありがとうございました。

■ 第3号被保険者制度

国民年金制度において、専業主婦を主たる対象とする被保険者制度。被保険者が保険料を負担することなく、基礎年金の給付が保証されている。しかし、パートなどによる年収が130万円以上になる場合、第1号被保険者として扱われたため、保険料を負担する義務が生じるため、主婦の労働市場への参入障壁となつていています。